

資料と公共性 : 2018年度研究成果年次報告書

岡崎, 敦

九州大学大学院人文科学研究院 | 九州大学大学院統合新領域学府 : 教授

市澤, 哲

神戸大学大学院人文科学研究科 : 教授

石田, 栄美

九州大学附属図書館 | 九州大学大学院統合新領域学府 : 准教授

後小路, 雅弘

九州大学大学院人文科学研究院 : 教授

他

<https://doi.org/10.15017/2230688>

出版情報 : 2019-03-14. 九州大学大学院人文科学研究院

バージョン :

権利関係 :

3. 研究会「学校資料」

日時：2019年2月10日（日）

会場：九州大学大学文書館

プログラム

報告

和崎光太郎／村野正景「学校資料について」

「九州大学大学文書館見学」

学校資料、学校博物館についての研究会を開催した。

共同研究の中核メンバーである村野正景氏に加えて、京都市学校歴史博物館の和崎光太郎氏をお招きし、京都市における取り組みについて報告いただいた。総合討論ののち、会場を提供いただいた折田悦郎大学文書館教授の案内で、九州大学大学文書館を視察見学した。

学校資料、学校博物館は、学校という特殊な場における資料問題を提起するばかりではなく、学校とそれを取り巻く社会との関係という意味で興味深いテーマである。特に、学校を支えた社会基盤が変容するなかで、学校資料の利活用を目指す取り組みにおいては、「学校資料」の実態とその意味の吟味に加えて、現代社会における価値の再定義という実践的課題も浮かび上がる。学校資料については、本共同研究として、継続的に取り組む予定である。

以下では、学校資料が提起する諸問題について、報告者を代表して、村野正景氏にあらためて書き下ろしいただいた論考を掲載した。これに加えて、共同研究全体の趣旨との関係という観点から、研究代表者が書き下ろしたコメントを付け加えた。